

第6回沖縄県振興審議会総合部会主要意見

【ビジョンの基本理念】

- 県民全体で共有する価値観とは何か、明確にしておく必要がある。
- 県民全体で共有する価値観とは、県民で共通する夢や理想と考えてみてはどうか。
- 県民一人ひとりが役割を果たし、自らの存在意義を感じることでできる社会を構築すべき。
- 沖縄らしさ、というのが21世紀ビジョンの骨格になるのではないか。
- 沖縄の価値観は、多様な価値観を認めていくことが価値観となるのではないか。
- 市場主義に変わる新たな装置を沖縄に構築すべき。
- ビジョンと基本計画との関係を議論する必要がある。

【めざすべき将来像】

- 将来世代である子供たちと、現役世代である大人が協働して将来像を策定していくべき。
- めざすべき将来像には、理想のみならず、失業や基地問題等の、現在ある課題が解決の道筋として半減されえるのか、といったことも盛り込むべきではないか。

【伝統文化】

- 伝統文化は、県民の幸福を支える土台となるものである。

【経済・産業】

- 健康長寿は伸ばすべき産業分野である。

【交流・共生】

- 沖縄が世界と交流する場合に必要となる技術力について検討する必要がある。
- 人間性を高める教育を行えば、世界中から沖縄に人が集まり、交流の輪が広がってゆく。

【環境】

- 環境問題は、子供への教育が重要な課題。
- 産業構造から環境問題を捉える必要がある。
- ゴミを資源として利用する社会の仕組みづくりが必要。
- 北海道から沖縄まで、ゴミ処理が画一的というのは問題。

【教育と人材育成】

- 偏差値ではなく、社会の変化に適応できる力、生きる力を身につける教育が重要。
- 人間力を高める、生きる喜びを引き出していく教育が必要。
- 日本（文部科学省）の枠組みを越えた教育が必要。
- 沖縄スタンダードの教育が必要。
- 原石である沖縄の子供たちを磨き輝かす教育が必要。
- 記憶力を試す学力、及び答のある問題を解く学力ではなく、答のない問題を解く力を身につけさせる教育であるべき。
- 日本国内のみならずアジアで活躍する人材を育成するべきである。

【在沖米軍基地】

- 基地発注工事等は公需である。理論武装を行い沖縄側がもっととるべきである。